

＜対談記録＞

なぜ着物は売れないのか—西陣織は崩壊するだろう……—

河村康人さん（河村織物会長）に聞く、
第29回京都工芸サロン講演記録をもとに

京都産業学センターでは、2017年7月4に開催された第29回京都工芸サロンに河村康人・河村織物会長をお招きし「なぜ着物は売れないのか—西陣織は崩壊するだろう……—」のテーマで講演いただいた。あわせて10月18日に李洙任と細川孝の2人が河村織物を訪問し、ヒアリングをさせていただいた。本稿はこのサロンでの講演とヒアリングの内容をもとにして、『京都産業学研究』編集委員会の責任で整理して対談形式としてまとめたものである。

伝統産業をどうとらえるか

——まず伝統産業をどうとらえたらいいかお聞かせください。

伝統と文化の定義を言えますか。何で文化なんですか、何で伝統なんか。簡単に使うのやね、この言葉を。選挙になったら、伝統産業を守りますとかね。

伝統と文化は全く違います。伝統というのは、必要なものを作って着ているだけなのです。必要なものを継続しており、こんにちまで続いている。それが、伝統です。極端に言うと、伝統産業という言葉はないはずなのです。伝統産業という言葉があれば、自動車も冷蔵庫も伝統産業になってしまう。

伝統産業じゃなく、伝統工芸になるはずですよ、伝統は。全部ではありませんよ、例えばということですね。ですから伝統というものは必要なもの。でも、



なぜ着物は売れないのか—西陣織は崩壊するだろう……—河村康人さん（河村織物会長）に聞く、第29回京都工芸サロン講演記録をもとに

必要でなくなったときに、伝統っていうのは継続できないのです。終わらんなんのです。

それは守ることができないのです。また守る必要もないのです、伝統は。必要な間はそれでいいです。

じゃあ、文化は何ですか。必要なものじゃないでしょう。世界中に文化はありますね、いろんな文化が。これは国っていうもの、人種によって、日本人、韓国人、中国人、ベトナム人、全部が文化を持っているのです。その文化は何かいうたら、人民が、人民っていう言葉は適切でないかもしれないけれども、好きな言葉や好きなことなんやね。お茶なんて必要ない。でも、日本人はお茶が好きなのです、茶道が、生け花が。でしょう。名取りが好きなんや。

それが僕は文化やと思う。だから西陣は伝統です。では、着物は。文化でしょう。作っているほうは伝統なのだけれども、着ている人は文化なんやね。着物は好きやから着ているのです。何も必要なものじゃないもん。だから伝統と文化というのは、好きか嫌いとか、それから守っていかんなんもんとか、継続してきたものという分類なんやね。

というのが、僕の考え方なのです。そうでなかったら、何か言うたら、すぐに伝統とか文化っていう言葉、安易に使うからね。それが結局はごっちゃにしてしまう。

僕らがやっている着物屋は今、最悪なのですよ。そこから答え出るでしょう。必要とされてへんのやもん。それを無理に守ろうとする必要ないんじゃない。

無理でしょう。着物好きな人がいっぱいいてくれたら、ほっといても売れますよ。日本人、みんな、着物を着ないもん。それを守れるっていうのやったら、みんな、強制的に、国が税金を使って助けてくれるのやったら別やけど、あり得へんしね。

僕も今、この商売してるけれど、納得してあきらめる方法考えなんわけや。もうつぶしてもええわと思わなきゃあないね。それは需要がなくなるからじゃあないでしょう。だから着物というものとか、伝統とか文化とかって、いろんなこときれいなことばかり言うけど、現実は違うのですよね。そや

から僕から言わしたら、努力はします。だからそれを前提に何で売れへんのかとか、どうしたら売れるのやとか、と。

なぜ着物を着ないのか

——では、なぜ着物を着ないのでしょうか。

同志社大学で教えている女子学生に聞くと、成人式前の19歳の子は「もう絶対に着物を着ます」って言うのやね。3回生になったら、「二度と着ません」と言うわ、ほとんど。何でかわかる。男の人はあんまり関係ないから、こんな話面白くないと思うけどね。理由があるのよ。みんな、着物は高いとか、着にくいとか、そういうこと言うのよ。でも、違うんや。

一番問題なのは、着物を着るときの身の振り方を知らない。ちゃんと歩けますか。ちゃんと挨拶できますか。ちゃんとご飯を食べられますか。誰も教えてくれへんのやね。着物と洋服の違いは、静と動なんです。着物は「静」なのです。動かないのです。洋服は自分の体にぴったりおうたもん着るから、ジーンズで動けるでしょう。でも着物は動いたらだめなのです。これが基本。

そういうことを「所作」といいます。所（ところ）という字、場所の所に、作（さく）って書く、所作。これなんよ。

——所作について詳しくお聞かせください。

日本人のみなさんは気がつかないけれども、世界に行って、日本人ほどきれいに歩ける人、きれいに挨拶できる人、ちゃんとご飯を食べられる人、これ、日本人だけよ。日本人の所作っていうのは、もう最高やね。これ、日本人は気がついてへんのやね。ほかの国の人は気がついてるのにね。

何でか。それは畳の世界やから、日本は。正座をするっていうのは、世界で日本人だけです。朝鮮民族は膝を立てます。日本人はお膳でものを食べます。今は机ですけどね。けど着物を着て、お膳でめし食おうと思ったらどうするか。すべてのものを持たんならんのです、手に。それが日本人の食べ方なんよね、すべて。おつゆも何もかも持って食べるのです。これが日本人の

食べ方の基本の所作なのです。

それが最高の文化であると。ですから、何で着物が売れへんのかなというときに、究極を言うと、みんな、せっかく着てくれて、着物着たいと思ってくれる人間が、毎年何十万人もいるわけよ。レンタル借りてもいいよ。1回着たいと思うわけや。1回着てみて、よかったなと思たら、また着てくれるんや。でも悲しいかな1回着たら、100%に近い人間が二度と着たくないんよ。それは今、言うてるように教えてくれないから。

男の人にはわかんないけど、着物着て、究極言うと、トイレの仕方をちゃんと教える人いいひんのやね。どこ行ってもいいわ、聞いてみて。ちゃんと教えてくれる人はいない。あの狭い箱の中に入ってみんな困っているのやね。でしょう、上げたり下げたりして。

ましてや振袖着てあれやってみいさ、たまらんよ。まだホテルやったらきれいやけどね。まあ見てみて、観察してみて。出てきはったら、みんな、後ろの髪の毛が乱れてるわ。何でやいうたら、振袖がじゃまになって、振りまいてるわけや。

楽しい、こんな着物を着ていて。でしょう。それをちゃんと教えてくれへんのよ。でも、僕は知っているね。唯一京都で何百年も、そのトイレの仕方を続けている業界があるのやね、舞妓。この人たちの実演を見よう思たら、どんだけ、あんた、金かかるか。

ただ単に遊んでるだけとちゃうよ。研究しなあかん。彼女たちは、だらりの帯に振袖着ていて、ちゃんとトイレするわけです。昔やったら、ぽっとなよ。ぽっとなってわかる、水洗じゃないやつ。汚いんや。それでもちゃんとトイレするわけでしょう。方法があるわけや。そういうことも教えへんのやね。

いろんな方法があります。一番簡単な方法を教えよか。着物着たらパンツ履いたらあかんのよ。わかる、パンツ履かへんかったら、下げんでもええでしょう。後ろ向いて、けつをまくったらええね。昔の人は全部そうした。そういうこと教えへんでしょう。

ひどい着つけの先生いうたら、言うのは、水を飲むとか、トイレ行かんでもええように。そんなことしたら、倒れるっちゅうに。

そんなふうな大事なことを教えない。それでは業界としてはだめになりますよ。

着物（の利用）を広げるために

——着物の利用を広めるために何が必要でしょうか。

結局3世代住まなだめなんですよ。所作の勉強教えてくれるの、おじいちゃんやおばあちゃんなんです。特におばあちゃんなんです。親、よう教えへんね。おばあちゃんが教えるんです。僕らの時代が全部そうなんです。

何でお母さんが教えられへんかいうたら、おばあちゃんが教えて言うこと聞かへんかったら、お母さんに文句言うわけ。ちゃんと教えなさいって、おばあちゃん言うから、やっぱり昔からしゅうとめさん、怖いのよ。そやから、しゅうとめから身を守るために、孫に教育すんね。

そやから、ちゃんにご飯が食べられるわけ。ちゃんとおはしが使えるわけ。そして物語で、着物にはこんな意味がありますよとか。小さいときから浴衣着て、こういうなことしたらあかんよとか、股開いたら、あかんよとか、トイレはこうしてしなさいよとか、いろんなこと、おばあちゃんが教えてたんやね。でも、今みたいにマンション入って、親は関係ないのやと。おばん、何言うとなのや、と思ってたら無理。

鉛筆の持ち方。ちゃんと持てない子多いんやな、今。学生のうち、半分ぐらいこうやって。これ、何でこうなるか知ってる。何で鉛筆持つのに、何でこうやってちゃんと持てへんの。何でこうやって持つか、原因があるのよ、おんなじなんや。これは何かいうたらボールペンとかマジックを持つからや。長さ変わらへんでしょ。

僕らのときは何ですか。これです。絵描くとき、クレヨンでしょう。字書くとき鉛筆でしょう。これ、どうなりますか。長さは、短こうなるでしょう。今の若い人は知らんけど、僕らのときには鉛筆なんて貴重品やから、短かになったら、キャップっていうもんつけてまで、つこたんよ。こうなるまで、持てへんね。でもこうやって持つね。クレヨンでもそう。必ず白とか、ブルーの色がなくなる、すぐ。そうするとこうやって持たんならんのよ。

でも、今の子は、しんどないね。同じ長さやから、マジックやから、残らへんよね。そやから幼稚園やうんぬんのときに、そういう鉛筆とかつこてて、あと小学生の3、4年になったときに、おはしをちゃんと持ちなさい言われたら、自然にこういう持ち方できるんやね。

この間大学の医学部の先生とこの話をしてたときに、精神科の先生やけど、こうして持ってる子っていうのは、ものすごい欠点があるのやね。これ、こうやって書いてたら、右目を使わへんねんね。見えへんねん、右目が。こうして書いてると、右目もちゃんと見るのやけど、こうして書いてるから、ほとんど見てないのね。左目だけで書いてるんやね。そうしたら左の脳が発達せえへんねん。それ以上は言わへんけど、欠乏してるね、左の脳が。

という話を、ある先生から聞いたことがあります。なるほどなと。だから昔みたいに、おじいちゃん、おばあちゃんが教えてた時代っていうのは、やっぱりよかったんやね。学校行って、何か違うもん。自然に親から、おばあさん、おじいさんから習ったんやから。それが今言うたみたいに時代が変わっていくとね。

——所作をどう身につけたらいいのですか。

この間も大学で教えてる子が、食堂に行って、そしたらほとんどの人が違うねんて、先生、こんな持ち方してました。でも、1人すごくきれいにご飯の食べ方してる人がいましたって言うのやな。それ、どうしたらいいんですかって。友達になってもらえちゅうたんや。

どんなきっかけ作るんですかと。いや、いろんな人見たけど、私になろてますけど、あなたが一番きれいに食べてはる。一緒に食べましよう言えちゅうてね。所作っていうのは今、言うてる文化やから。それが日本人がすばらしいということを知ってれば、自然に身につく。身につけたいでしょう。

お菓子一つ食べるの、食べ方いっぱいあるわけ。あるときに、なるほどなと思たんは、この間のイギリスの結婚式のときのテーブルマナーの本が出た。めったに出えへんのよ。でも、例として出たんが、アスパラガスなんや。お皿にアスパラガスがほんと1本出てくる。どうやって食べますかちゅう質

問なんや。どうやって食べたらいいと思う。

アスパラガス1本、ほんとお皿の上に乗ってるね。食べなさいって言われて、フォークいっぱい並んでるわけや。答え、簡単。手で食べなさい。

意味わかる。一番行儀の悪いことは避けなさい。それを落とすということ。アスパラガス切って食べたらええ、刺したらええけど、下手したら転げ落ちるかもわからへんよね。手で持ったら安全でしょう。お菓子もそう。和菓子はいろんな種類がある。基本的には手で食べるのが基本。

黒文字（黒楊枝）って知ってる。おはしみたいな小さいつまようじみたいな出てくるでしょう。みんな、あれで食べなアカんと思てはるのね。あれは格好程度でええね。べたべたになるようなお菓子は切って食べる。でも、落とさへんということが目的やから、別に汚れへんやつやったら、あとでふいたらええぐらいのもんやったら薯蕷饅頭とかそういうものであれば、手で食べたらええのよ。

裏千家さんのお正月には羽二重餅いうて、半分に折って、中にゴボウが入ってる。さあ、大変やで。ゴボウやで。どうやって食べるの。味噌がついてるねん。知らん人は一生懸命切らはるね。両サイドから味噌が出てくるのやな。ほとほと落としてはるわけや。切らなアカんと思たはるわけや。僕らの隣にはる人、裾折って、口、そのまま手で食べはったらいいんです。

文（もん）の話題を通じて着物の魅力を知る

——着物の魅力を語っていただけますか。

着物にちょっと興味を持ってもらうために、文（もん）の話をしましょう。文様ってわかる。柄、あるね。これは、たいてい奈良時代、平安時代ぐらいからできてきたのです。その時代のことを考えてください。一番わかりやすいのは、十二単（じゅうにひとえ）やね。十二単っていうのは、きれいなお姫さんが着る。

あれにもちゃんと理屈があるのやね。十二単っていうのは着物、あれは12枚着ます。これは12カ月を表します。それをおなかの上で合わせます、丹田の上で。いくつになりますか。12の倍でしょう。ここん中で24になる

のです。24は二十四節気。わかりますか。冬至とか立春とか、二十四節気。そして着物っていうのは1枚が生地、6枚でできています。6枚を12枚重ねると72枚です。さあ、たし算。「12 + 24 + 72」はいくら、「12 + 24 + 72」イコールで、なんぼですか。108。108って何。

煩惱です。煩惱って何。辞書で引いたら、欲って書いてある。人間の欲。その時代の欲って何でしょう。平安時代の人の欲って。貴族よ、貴族の話。

その時代で貴族たちが一番求めたのは何ですか。財産もある、金もある、すべてある。何を求めたかという、死にたくなかった。みんな、早いのですよ、その時代の人。50、60まで生きてることなんて、化石なんよ、そんなもん、めったにない。みんな早く死ぬんや。死にたくないよね。何でもあるのやもん。どうしますか。死にたくなかったら、やっぱり方法考えましょう。長生きできる方法教えてくれる人がいるのやね、金積んだら。誰ですか。

安倍晴明ちゃうよ。中国人なんです。4000年の、その頃やったら3000年の歴史があるでしょう。秦の始皇帝は、長生きの薬を探して、財産つぶしたわけでしょう。みんな、偉なるのは、みんな、長生きしたいの。でしょう、違いますか。それ教えてもらったら金銀を積むわね。その時代やったら遣唐使とか聞いたことあるでしょう。彼ら来るわけ。ほんで、また貴族を呼んできて、中国ではどうしたら長生きできているのやって話をするのやね。それで教えてもらうんです。

最初に教えてもらったのが漢方薬なんです。これを飲んだら長生きできるよっていうので漢方薬が入ってくるわけです。それも代表的な漢方薬があるんです。それは菊なんです。菊って日本のもんと思うけど、違うのよ。野菊は日本のもんやけど、大きな菊は中国から来てます。これを煎じて飲む。菊酒を飲む。めでる。9月10月になったら菊の花が咲くときに、上に綿を乗せて、夜露を飲む。

菊は最高の薬やね。だから日本に菊が入ってきたんです。そしてそれをお祭りするのが重陽の節句。9月9日、宮中でも、いまだにその日は菊の節句をするでしょう。でも年に1回のお祭りでは困るわね。もっと長生きする方法はないんか。ほな中国人、また金積んだら教えてくれるのやね。それが何

かいうたら、柄なん、文様なん。

——文様とはどのようなものですか。

文様とは特殊な柄のことなんです。文様を身につけてたら、魔物は寄ってこないと言われるから、貴族は競って、その柄を着たわけ。いまだにその分類をしています。その分類した文様の名前を、こういう字を書きます。読めますか。

有職（ゆうしょく）と書いてあるでしょう。これ、ユウショクと読まないんです。ユウソクと読みます。おひなさんとか五月人形とか、有職文様とか、有職人形とかいうでしょう。御所の人形のこと、有職人形とかいうでしょう。だから貴族たちが使っていた柄を、特別に有職文様といまだにいうんです。それ以外の例えば菊とか、菊も入りますけど、牡丹とかほかの吉祥柄を吉祥と呼びます。分類なんです。

一番古いのが、この有職文様なんです。例えばこういう菱の柄とかね。これ、竹だけじゃないです。こういう菱の柄とかね。それから、こういう立涌（たてわく）知ってるかな、こんな柄知ってる、見たことあります。あんまりないね。

こういう柄があるで。これ、立涌っていうんです。これ手で表現してくださいと言うと、みんな、こうしはるね。こう、きれいね。女の人の体みたい。これ、立涌っていうんですが、貴族の中で一番好まれた柄なんです。

でも、悲しいかな。こうじゃないんやね。これは気が上がっていく状態。氣、だから、こうやったら気が下がるんやね。こうじゃなかったら、あかんのやね。昔は蛤が、気を持ってるといわれた。だからお姫さんは貝合わせするでしょ、知ってる。貝と貝を合わせて蛤で。あれはただ遊んでるんのちゃうのよ。邪気を払うために、遊んでるのよ。

自分の近くにそういう魔物が寄ってこないために、お姫さんを守るために、遊びの道具までがそういうものを使った。ですから、テレビを見てたら、貴族の柄と武士の柄は違います。貴族が着ているものを吉祥文様といい、有職文様というこういう特殊な柄なんです。こういう話、面白くない。男の人

は多分面白いと思う。

もっと言うたら日本人って、生まれてから死ぬまで柄との縁がいっぱいあるんですよ。そういうことは今、忘れられてるのやね、悲しいかな。で、こんなことをしゃべってたら、みんな、着物好きになるのよ。

——柄の具体例をお聞かせてください。

例えば生まれたときに、おばあさんとお母さんは、必ず一つの柄の浴衣を持っていた。それは藍染で、みなさん、見たことあるかもわからん。名前知らんと思うけど、こういう柄ね。わかる、見たことあるでしょう。ダイヤモンドみたいな。

これ、麻の葉なんよ。大麻ちゃうよ。これ麻の葉っていうのは、何か使わない。聞いたことない、何に使う。昔はひもにつこたんやね、麻のひも。何で麻ひも使うかわかる。これを浴衣でやわらかくなるまで着て、おばあさんが必ず使ったものがある。

それが、おしめなの。着物をやわらかくして、孫のために、わざわざこの柄の浴衣を買って、着て、そしてそれを浴衣にして、やわらかくなるまで着て、おしめにした。それで麻というのは真っすぐ伸びるんです。意味わかる。

真っすぐ伸びるということは、丈夫で真っすぐ伸びるんです。だからこの子が丈夫で真っすぐ伸びてほしい。その願いが、おしめのときからあるんです。それが昔の愛情なんです。子どもに対する夢なんです。健康でいてくれ。丈夫でいてくれ。それで真っすぐに子どもに育ってはる。今の子はどうか。真っすぐ育たへんね。パンパースやからです。

丈夫で長もちする子を育てようと思ったら、昔はそういう願いを込めたわけ。成人式で着物を着るのは、ワンパターンで決まってるのよ。僕がすすめる柄は着いひんのやね。成人式で特に着なあかん、着たらあかん柄があるんです。

でも、90%の人間が着たらあかん柄を着とるんや。どんな花やと思いますか。いい花、みんな、よく知ってる花。

あかんほういこか。ええほういこか。いいほうの花は何も全部じゃないよ。部分的に入れてたらいいのは牡丹なんです。中国では花の王なんです。

花王なんです。これは花の意味は、これ聞いたらもう忘れられへんよ。幸せになれる。金持ちになれる。玉の輿に乗れる。牡丹嫌いか。着たなるやろ、牡丹を身につけたなるやろ。身につけてたいでしょう。

じゃあ、あかんほうの花いこう。絶対に着てほしくない。僕は自分の会社でも振袖には絶対売りません、その柄は。それは皆さんの大好きな花、女の人は。

和の花です、和。桜。みんな、若い子好きなんや、桜が。下手したら桜だらけなんや。白いから、ピンクでかわいらしいでしょう。普通のときは構へんよ。でも成人式には着んほうがええと思う。それは花の意味を知ってたら着ません。

けど、これは小売屋さんの講演で言うとな怒られるのやね。みんな売ったはるから。うっかり言うて、言うてしもたんやね。花の意味は悲しい、あわれ、みじめ、もう終わってるね、成人式で。それが意味なの。

桜ほど利用された花ないでしょう。戦争にも利用されたし。花のように桜のごとく散っていくってそんな迷惑な話や。それを美化したわけでしょう。桜の本来の意味は、和歌でも、何でも書いてあるときには、悲しいとか、あわれとか、みじめという意味から入ってるわけです、本来は。

でもきれいやから、でもそれも知らないで売る。そしたらこの間も、講演でうっかり言うてしもたから、前にいる奥さんがえらい怒ってね。そんなもん、先生もっとはよ言うてもらわな困るっちゅうてね。うちの娘、桜だらけやって、35にもなって嫁も行けへんと。意味知らんのよ、みんな。

安いでっせ、ええもんでっせ、新柄でっせって、おんなじこと言うてるね。柄の説明なんか誰もできひんでしょう。柄の説明聞いたら、呉服、楽しいもんはないのよ。それも200も300もあるわけとちゃうの、和の世界は。もうそやね、十（とお）も覚えたら、プロやね。

この間も京都新聞から、毎日、柄の説明をしてくれって企画を頼みに来はったん。365日、あらへんちゅうね、そんなもん。今、言うたはるように、バラかけてたら別ですよ。和の世界ではないもん、そんなに。10回ぐらいは菊ばかりやらんならん。そんなにないんです。でも、意味は全部あります。

そして今、言うてるように、目的は、全部その目的があって、成人式やったかな。すると、今度は結婚式には結婚式の花がある。そいで、例えばよく聞かれるのは、病上がりとかにも適する柄があるんかと。何や、それは椿なんです。椿の花言葉。アンコ椿じゃないよ。古いね、アンコ椿って。

椿の花言葉、春がきた。き（木）へんに春でしょう。それのとおりなんや。春がきた。だから新しいことするときとか、病上がりとかは、小紋の柄がいっぱいついてる小さな椿の花を着ると、理想的なんやね。そういうことを知ってると、着物って、今日はこれしてみようかなと思うわけやね。

——逆に悪いのはどんな文様ですか。

葬式の話しをしましょう。葬式もこれ大変なんやね。葬式って、みなさん、先生方はあれやと思うのやけど、若い人は葬式あんまり行かへんでしょう。2種類あるのやね、大きく分けて葬式って。大事な葬式とどうでもええ葬式とある。義理で厄介で行かなあかん葬式と、親兄弟の2種類ある。

京都では、お葬式のとき塩もらうのやね。知ってる、三角の。家帰って、まくでしょう。あれ、まいたらあかんの知ってます。清めるんでしょう、あれ。清めたくない人がいるでしょう。親、兄弟、恩師、清める。隣のおっさんは清めたほうがええと思うけど。

これ、みんな癖みたいに若いときから教えられるから、皆、塩まくのやね、家の前で。大事な人のときはまく必要ないんよ。

喪服って知ってる。お葬式のときの。真っ黒けなんです。柄がないんよ。ただ帯だけに柄があるのやね、帯に。だからそれで分類できるのやね。

大事な人のときには輪廻転生柄。きれいな花が咲きます。何の花。蓮。御釈迦さんが座ってるでしょう。あれは輪廻転生柄の代表柄です。だからこの人と来世も会いたいと思ったときには蓮の柄なんです。大事な人のときには、それを締めていく。どうでもええ人のときは、水の柄なんです。流水の柄なんです。

清めるから、波の柄でもいいんです。お葬式も楽しなるよ、それを知ってたら。今日はどれでいこうかなと思って。今日はどうでもええ人やさかい流

水でいこうとかね。

昔、佐藤栄作という総理大臣が死んだとき、テレビ中継ですよ。奥さん、雲というてね、雲も輪廻転生柄なんです。来世にも会いましょうという意味なんや。ほなテレビで映ったとき、この奥さんがまた来世も佐藤栄作と一緒にいたいんやなど。

でも講演してると、いろんな奥さんがいるの。え、来世もうちの主人と一緒にですか、とかね。先生、それ避ける方法ないんですかとか。いや、教えるわけにいかんでしょう、と言うのやけどね。でも絶対に参考のために教えてほしいって言わはる。あるんです。先ほども言いましたけど、椿なんですね。言うたでしょう。ご主人死んで、元気のいい奥さんいるでしょう。春がきたんです。そのときには椿の柄、ほかの柄は要りませんよ。そんなふうにお葬式も3種類持っていると楽しいんです。だから生まれて赤ちゃんのときから死ぬときまで柄というものの縁があるんです。しゃべりすぎたかな。

西陣織の現状はどうなっているか

——話題を変えて、西陣織の現状についてお聞かせください。

平成の前までは、西陣の帯だけで2,000億円の規模がありました。小売屋さんでいくと大体1兆円なるのやね、5倍ぐらいなる。1兆円産業やってんね。順風満帆ですよ。一生続くと思ったね。おっとどっこい。それから30年、あれから30年ですよ。変わるね、世の中は。

さあ、今、いくらでしょう。現在、1割でも200億なのが、150億ないんですよ、8%。本数も400万本作っていたのが、今は40万本、1割なんです。

原因わかりますか。売れないとかだけじゃないんです。長い歴史の中で理由があるんです。これはマネーゲームに引っかかったんです、この業界は。

それを説明しますと、昭和、戦後になって、復員して職人さんが帰ってきました。それで機（はた）を織りだしました。1年後には商品ができて問屋さんができました。そして小売屋さんができました。売れませんが、ちょっと売れる時期がきた。それが朝鮮動乱なんです。それでそのままいくと思た

んやね。

それがおっとどっこい。そうじゃないんやね。昭和30年代は今以上に不景気やったんです。10年間は作れるもの全部売れませんし、つぶれると倒産ばかり。それから高度成長に入っていくんです。さあ、そこで問題や。今、言うてるようにマネーゲームが入ってくるんです。ファンドが入ってくる。

それ一番の理由は何かいうたら、ファンドの特徴は、不景気な業界に入ってくるんです。そうでないと株価は上がらへんね。景気よかったら株が高いもん。不景気なところに入って株を操作していくわけでしょう。さあ、売れた売れた。何百億という商いする企業が、上場する会社もいっぱいできてきました。

でもマネーゲームは、大体10年で平均的にやめるんです。でも、おっとどっこい、景気がよかったんで20年も続いちゃったんやね。そしたら、山高くして谷深し。それが今やね。では、そんだけ着物が売れたんかいうたら売れてないんですよ、本当は。

何でかいうたら、それは着物を着るために買った人じゃないんだよな。ホストクラブみたいなもんで、遊んでもらうために着物を買ってもろたんです。ドアツードアというて、奥さんを迎えに行って、歌舞伎見せる、旅行行く、おいしいもん食べさす。それで今日100万つこたらええのかという感じで遊んであげた。

その頃の商品は、今で言うたら、締められません。今やったら返品ばかりのものです。重たい重たい帯で、座布団巻いてるみたいな帯ばかりです。これは着ないから、たんすの肥やしみたいなもんで、持ってるだけでいいんです。着る気もないんです。

でも、今は着る人しか買いません。ということは、150億は着る人が買ってくれてるのやね。経済から言うたらよかったけども、ただ元に戻っただけやねんね。これとおんなじ例は、呉服だけじゃない。身近なものがいっぱいあるやん。

——西陣織と同じ目にあっている業界はどこですか。

昭和40年代から始まったもの、一番不景気やったもの、電機業界です。電気機器の小売です。冷蔵庫やテレビを、街の小売屋さんが売っていたわけでしょう。それをまとめて買うて、安く売るところができるんやね。いろんな名前の量販店があったけども、これもファンドなんです。

一小売屋さんが、日本全国にお店を持ってるんやね。特に景気の悪いところ探したら、カメラで売れへんなど。ほな、何とかカメラに金つぎ込んで、日本中にお店を作ったれいうて、ファンドが作るわけでしょう。売れた、売れた。

でも、カメラ、そんなぎょうさん要りますか。電化製品もそうでしょう。定価が例えば10万円のもんを、メーカーいうて、小売いうて、普通やったら5台10台注文するのを、一つの小売屋が、大きいファンド持ったら1万台買ういうて話になるでしょう。半値になるんですよ。三菱が断ったって、東芝が売るでしょうってなってきた、みんな、安くしてしまうんやね。それで伸びていった、電機業界は。それでカメラやさんです。

ついこの間までうちの家の近くに5軒おんなじ店がありました、系統のドラッグストアです。みんなの家にもあるでしょう、近くに。あれ全部土地を借りてるんです。うちの近くの土地も、250万で借りてるんです。

何を売ってるか。毎日腹痛起こすか。ジュースを売ってるのよ。採算合う。5軒のうちで今、1軒しか残ってないんです。それは別にかまへんのよ、向こうは。日本中に200支店を持ってます。粉飾決算して、株価が上がるのよ。これがマネーゲームです。

今、狙われてるとこ知ってる。西陣とおんなじ状況になっても気がつかはらへんところあるのやね。このうちの半分の人が使てはるね。何屋さんやと思う、半分の人が、つこてるよ。

そう、眼鏡。福井の鯖江というこの。みんな、どんどん設備投資してるけど、眼鏡そんなぎょうさん要る、売れる。みなさん、眼鏡かけてはる人、10個も持ってる。要らんでしょう。これ、僕、持ってる老眼の、これ100円のよ。原価50円だよ、これ。十分やもん。

昔の西陣と一緒になんです。こんな言うたら悪いけど、テレビでどんどん宣伝して、確かに努力もしてはる。でも、作りすぎてるよ。そやけど、まだ海外に売れるだけましかもわからん、呉服よりかは。でも、設備投資は、ファンドは絶対しません。小売しかしません。作るほうが金かかるから。

西陣も、帯はどんどん売れるいうて、丹後にどんどん機を増やしたわけ、多いときには1万台もあったわけ、丹後に。それが今は1000台ないんよ。1台1000万円以上すんのよ。全部買わすわけ、売れていくから投資するわけ。バブル吹っ飛んで、どんだけの人が自殺したかわからへん、丹後で。そら、1割まで減んのやもん、急激にね。

でも、今、言うてるようなところこそは無視でしょう。関係あらへん。作ったほうが悪い言うてるだけで、当然鯖江もそうなります、気をつけないと。これが経済なんやね。常にファンドは、次の経済で何を目的にするかということを見てるわけやね。探してるわけ。

そら、言うて悪いけど、リーマンショックで会社つぶれたでしょう。あの社員、社員っていうたらディーラーみたいな人、すぐ就職あるんやね。どこの大学出てるか知ってる。京大、東大ちゃうよ、ハーバードかケンブリッジとかの投資専門のところを出とる。全然ちゃうよね。もう詐欺師集団やからね、あれは。金もうけの。みんな、それに引っかかるわけや。それが今、日本の経済。

——そのような経済や商売のあり方について、どうお考えですか。

僕は近江商人の勉強をしています。近江商人の勉強してる人は、やっぱり商売の原点を知ってますね。近江商人って、三方よしって知ってる。聞いたことある、仕入先よし、得意先よし、世間よし。

近江商人の原点は天秤商売、こっちから持っていったやつを遠く秋田まで売りに行くわけよ。青森まで売りに行くわけ。昔は何を売ってたかいうたら、一番多いのは蚊帳。滋賀県で作った蚊帳をどんどん持っていくわけ。東北まで売りに行くわけ。そいで帰り、全部売り切ったら、帰ってくるわけ、と思うでしょう。違うのやな。帰ってくるときに、もうけた金で、そのものを

買って帰ってくるねんね。だからダブルでもうかるわけや。

そしたらみんな、近江商人ってずるいなって言うのや。違うんや。もっと原点があるね。それは滋賀県でものを作ってる人を守ってるわけ。そして秋田や青森まで行って、そこの作ってる人たちの商品を買って、作ってる人を守ってるわけ。だから両方ともに、顔を立ててるわけや。これが商売の原点なんやね。

そやけど、今は違うねんね。自分よしばっかりやから。だから昔の商売っていうのは、みんな、そういう具合にちゃんと計算されてやってきた。そして今、言うてるメーカー、作る人を特に守ってきた。これが原点です、商売の。作る人を守らへんかったら、どうしようもないもんね。

河村織物の経営はどうなっているか

——河村織物の特徴についてお聞かせください。

僕とこは手機（てばた）専門なんです。織機（しょっき）はないんです。全部切り替えていきました。自分自身が手機しか織ったことないから、織機のことわかんないから、できない。でもそんなんで、手機では食べていけないって言われた。

そこでターゲットに絞ったんが、40年前に中国でやったらと、中国に進出したわけです。でも隠すのはやめようと。その前から韓国や台湾で、みんな作ってたんです、西陣織は。でも、知らなかった、みんな、隠してたからです。だから大もうけしはりましたんや。でも10年しかもたへんのやね。ばれるのやね。そら、店のもんもいるし、何かのあれで、よっぽど商品があればやったら別やけど、やっぱり人の口には、戸は立てられへんし、ばれていくのやね。10年でみんな、韓国やとか台湾でやった人、みんな、ばれてしもて売れへんね。僕はその方法を逆につこたんやね。

これは中国製ですと言うたろと思った。やったんやね。作ってきた帯を、これ中国製ですって売ったわけ。売れるわけないよね。国内に100台の機を持って、1台の中国製品のおかげで国内まで売れへんようになるんやね。そこで考えたね。どうしようか。やめようか。やめまいか。そこでひらめい

なぜ着物は売れないのか—西陣織は崩壊するだろう……—河村康人さん（河村織物会長）に聞く、第29回京都工芸サロン講演記録をもとに

たんですが、絶対にええもん作ったら売れるはずやと。

国内で1本の帯を織るのに、大体1週間から10日ぐらいかかるんです、手機やと、ええもんは。こういう具合に織るわけね。そいだら日本で1週間かかるんやったら、向こうで人件費安いんやから2週間かけて織ったろう、おんなじものを。そうしたら、糸が渡らへんようになるの。そうすると、軽くなるのやね、帯が。だからいいもんになるわけ、帯が。締めやすくなる、軽いから。薄くなる。

そしたら、わかってくれる人が出てくるのやね。だから3割の人間がわかってくれたら、それで十分やと思った。これが面白い現象で、3割の人間がわかってくれたら、3割はわからんやつがおるんやね。見てもいいひん、さわってもいいひんのやけど、河村って中国で作っとんでって言うて歩きよんやね。

むかつくでしょう。違うんや。逆なんや。宣伝マンなんや。日本中に言うて歩いてくれるわけや。河村は中国や、河村は中国やいうて言うたら、みんなもそうでしょう。今、国会でもめてるけど、もう前のこと忘れてるでしょう。ほな中国で作ってるっていうことは、みんな、消えてしまうんやね。

河村織物だけが残るのやね、名前が。これ有名な会社やねってなるのやね。だから悪いと言われることは宣伝マンになって、そいでええ商品があると言われて、こんにちまできたわけやからね。それでも今、しんどいんですけどね。

——中国だけでなく、北朝鮮でも生産していたとお聞きしましたが。

何でも好きなんやね。ほんで、まだ拉致問題が公になっていないとき、初めはラオスにもコネがあったから、どっち行ったらかな思たんやけど、北朝鮮のほうが近いから、あっちのほう行ったら思て、行ったんです。

20年ほど前、7年ほど作ってたんですけど、国交が断絶したから、そこでやめましたけどね。それも大変やったです。北朝鮮で作るのやったら、またほろくそに、みんなに言われてね。でも、ええ国ですよ。

そら、行くとき、食糧難や思てトランク二つに食料を10日間行くのに

ぎっしり持っていったんよ、ラーメンやとか。何のことない、何でもあるんやもん。日本のラーメンも全部あるんやもん、ホテル行ったら、売ってんのやもん。ほんで、勤勉。もう手が早いし、そいで、まじめやし、中国人のほうが、いかにええかげんなんかと。

——どのような経緯で北朝鮮に。

行つたろう思ったんやけど、初めは縁がなくて。何人か行ってはったんです、隠れてね。その情報聞いたから行つたんですけど、最初は断られてね。和装で刺繍するっていうたら、そんなもん、そんなとこでできるかって言われて、2年間ほど、ほっとかられたんです。返事がなかったんやね、朝鮮総連から。

ところが、ある日突然総連から連絡があつて、昭和30年代に帰ってる人がいてね、向こうに。その2世の人が刺繍をやつててレベルが低い。だから河村さんが来て、お金なんぼでも出すから、うちの甥っ子守ってくれいうてね。で、行つたんです。

うまいこといったんやけど、国交ができなくなって撤退しましたけどね。何回も行きましたけども、ほんまに楽しかったですね。だからあの頃は、今の時代とちゃうからね。だから、そんな厳しくもなかったし。これがまた国会でも問題になってね。

中国のときも国会で問題になったんですよ、中国でももの作つてるとほろかすに言われて。北朝鮮に国会議員のある人、若手が一緒に行つたんですが、また攻撃されてね。もう踏んだり蹴ったりやつたんやけど、また、これがあるがたいかな。国会で河村織物、河村織物、1時間ぐらいで100回ぐらい言うてくれたね。ほしたら今度はインターネットからメールが入ってくるね。殺したろとか1万通ぐらい入ってくるよ。これまた宣伝やね。

——その一方でロイヤルファミリーの帯も織られてるとか。

それは運なんですよ。僕はこの柄を基本にしてて、偶然にも美智子皇后さ

なぜ着物は売れないのか—西陣織は崩壊するだろう……—河村康人さん（河村織物会長）に聞く、第29回京都工芸サロン講演記録をもとに

んは、そういう勉強をされてて、こういう文様、有職文様、よくご存じなんやね。うちの帯がさっきもここに載ってたけど、ほかの人、美智子さんだけとちごて、ほかの皇族も全部自分が選ばはるね。その中に必ずうちの帯が入ってくるから、ありがたい。

時々中国で作ってはるから、そんなもの返品しますいうてくるんやね、メールや電話で相手が、返してくれ言うもん。ただし100万円で買わはったんやったら、100万円返してあげる代わりに、100万円でうち以上の帯買うてきなはれて言うて。それとわしは、別にあんたに買うてもらわんでもええのやと。うちは黙ってても皇后陛下買うてくれはるねんから、と言うたら、そんなもん結構です。すみませんいうて謝らはる。何ちゅうたって皇后陛下が買うてくれはるねんもん。あげてるのちゃうよ。

この間亡くなった麻央ちゃんにはあげてたけどね、ずっと。あの人、コーディネートしてたからね。ずっと京都に、子どもできはるまで、海老蔵さんが撮影が入ってて、その関係でずっとうちの会社来て、お昼からずっと来てずっと遊んでたんです。着物着て、コーディネートして、そんなんどうでもええけどね。

——今日はいろいろと興味深いお話を有難うございました。